



「ありがとう！」に「ありがとう！」

部長 松本安博

今年も^{まなびや}学舎に七段飾りのお雛様が飾られ、春の訪れを感じます。

さて、第59回卒業証書授与式の日まで残すところあとわずかとなりました。今年は、88名が3月13日（金）に初等部を巣立ちます。

今日は、朝から卒業を間近に控えた6年生とともに、鎌倉にある二階堂学舎に行ってきました。二階堂学舎では高僧をお招きし、「命の大切さ」と「人の生き方」についてお話をいただいた後、卒業座禅に取り組みました。続いて本学の春日先生より、「道をひらく」をテーマにご講演をいただきました。そして、自らの道をひらくには、「夢」をもち、「目標」を掲げ、「努力」を重ね、「挑戦」していくことが大切であることを気付かせていただきました。自分探しの道、自分づくりの道をあゆんでいくうえで、忘れることのできない貴重なひとときとなりました。

今週から来週にかけて、6年生の各クラスが私たち職員を「おもてなし昼食会」に招待してくれています。私が参加したクラスでは、主食と主菜、汁物にデザートなど、テーブルに並べられた料理の美味しさと楽しい会話で、心がとても温かくなりました。そして、招待状や手作りのランチョンマットに書き記してくれた、たくさんの「ありがとう。」の言葉に、私は言い表せない幸せを感じました。求めていたわけではなく、期待していたわけでもない突然の「ありがとう。」の言葉ほど、うれしいものはありません。

次に記載した「ありがとう。」の言葉は、「おもてなし昼食会」の他、1月になってから私に届いた「ありがとう。」の言葉です。

【「おもてなし昼食会のメッセージより」】

- 朝たまにサッカーをやっている僕たちに声をかけてくださると、とても楽しくなりました。4年生の頃から支えていただき、ありがとうございました。
- 今まで私たちを支えてくださって本当にありがとうございます。先生は途中から入ってこられましたが、私たちが卒業するまで見守ってくださって心から感謝いたします。本当に今までありがとうございました。

- （途中略）先生笑顔や声に、何度安心したか数えきれません。今までずっと支えてくださり、ありがとうございました。
- いつも廊下などで先生に会う度に、「○○さん」と声をかけてくださって、とてもうれしかったです。私たちの後輩が安心して初等部生活を送れるよう、よろしく願います。
- 私は、部長先生の笑顔がとても印象的です。そんな先生の優しい笑顔がもっと輝くように今回の昼食会、頑張らせていただきます。

【折り紙で折られたかぶとより】

- いつもみんなを見守ってくれてありがとうございます。

【封筒に入れられた便りより】

- 前日は、激励会で楽しい時間を過ごすことができました。（途中略）部長先生の明るい笑顔と応援で元気が出ました。本番での緊張が乗り越えられると思います。精いっぱい受験をがんばってきます。本当にありがとうございました。

これらの「ありがとう。」の言葉、最初はそっとしておこうと思いましたが、私こそ、優しい初等部生のみんなに出会えて、「ありがとう。」と言いたいとの思いから、また、何人かの人が「初等部便りに書いていいですよ。」と、言ってくれたこともあり、掲載することにしました。

初等部の建学の精神は、「感謝と奉仕」の心の形成です。これからも感謝の心が、そして、「ありがとう。」の言葉がいっぱいのクラスを、初等部をみんなできつっていききたいと思います。



【「おもてなし昼食会」の風景】